

研究紹介

平成 31 年 4 月 12 日

富山県立大学 電子・情報工学科 情報基盤講座 3 年

沼田 賢一

はじめに

発表の流れ

- 1 研究内容と影響
- 2 サーベイ
- 3 必要な技術
- 4 結果の出し方

研究内容と影響

研究内容

生徒の成績などの情報をもとに、生徒をクラスタリングし最適なコンテンツを提示する.

生徒は, これにより成績やモチベーションを向上させることができる.

サーベイ

従来の研究

映画や本の推薦システムは, いくつかあった.
教育支援に関するものもあった.

必要な技術

必要な技術

学習コンテンツの取得のためにスクレイピング, クラスタリング
生徒に最適なコンテンツを提示するために協調性フィルタリング
を使う.

結果の出し方

結果の出し方

実際に利用してもらい, ユーザーの点数の伸びや評価を聞いて判断する.